

特42

456

訂正
觀世流儀内百拾番

鉢木

84

鈴木

第...

行儀... 道... 赴方...

是... 不可不信の

抄此... 位濃國...

加... 密... 中... 記...

鎌倉... 喜... 仲... 出...

や... 思... 信... 清... 回... 歡...



書

鈴木

第...

行... 女... 道... 志... 方...

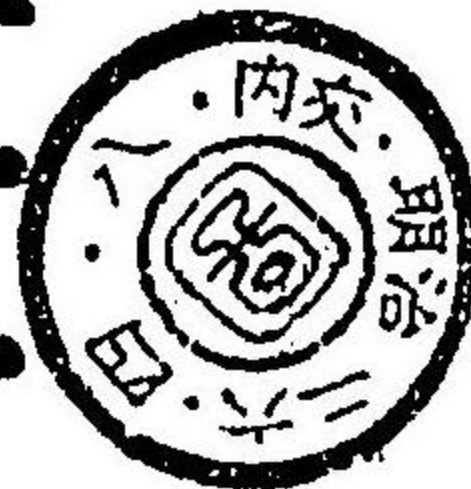
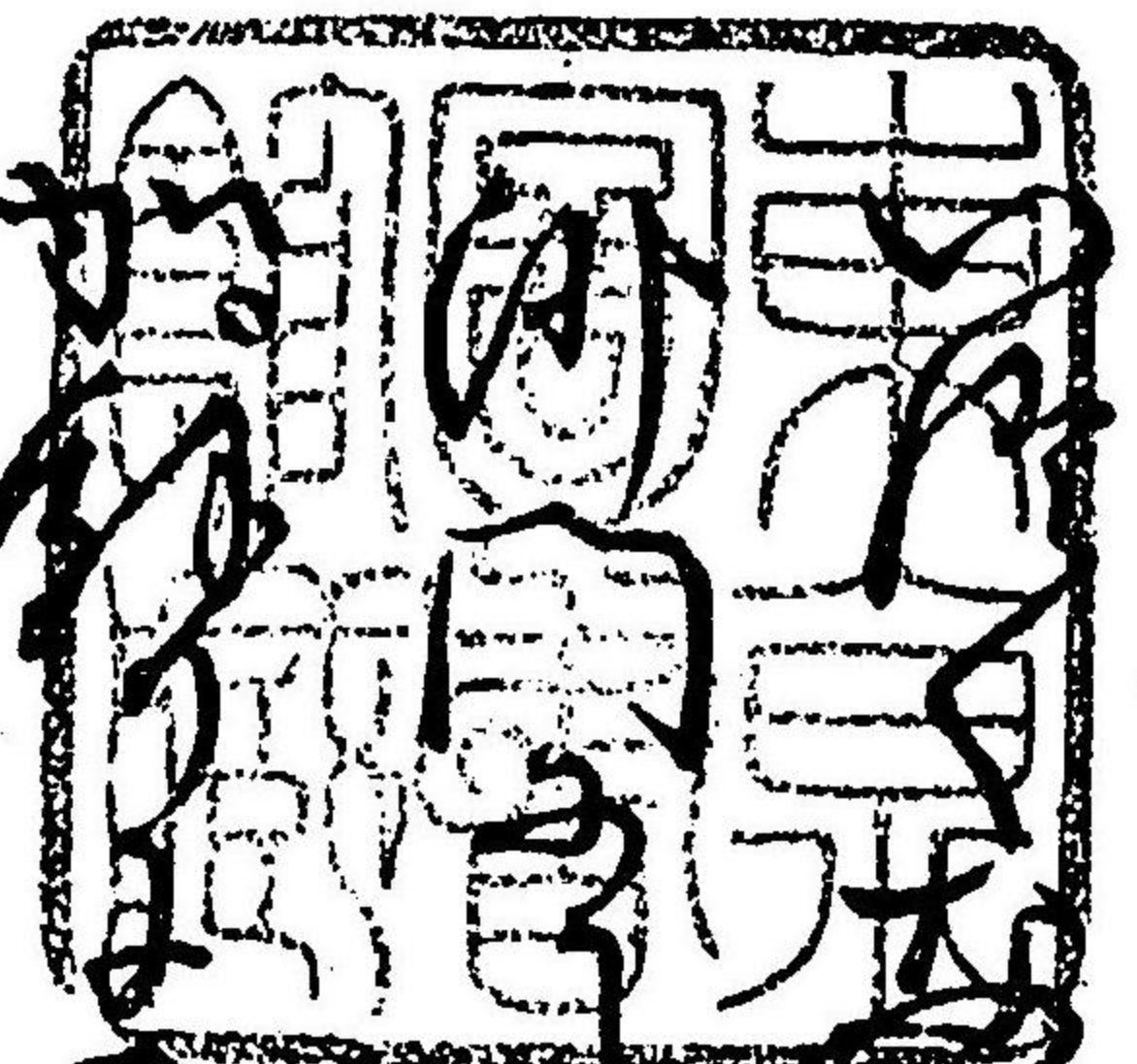
是... 不可不信の

神... 信... 國...

...

鎌... 子... 幸... あり... 信...

や... 思... 信... 清... 回... 獄...



...

へるもさへくつりつて外面入出留
 洗由てかきかへて思ふ^事らる
 多し^事のさへくつりつて外面入出留
 けり^事のさへくつりつて外面入出留
 散乱へくつりつて外面入出留
 個々^事のさへくつりつて外面入出留
 へるもさへくつりつて外面入出留

きり^事のさへくつりつて外面入出留
 油^事のさへくつりつて外面入出留
 さ^事のさへくつりつて外面入出留
 けり^事のさへくつりつて外面入出留
 具^事のさへくつりつて外面入出留
 けり^事のさへくつりつて外面入出留
 程^事のさへくつりつて外面入出留

あゝ有ま〜く〜く〜作り内痛

ま〜ま〜く〜く〜作り内痛

う〜う〜く〜く〜作り内痛

ま〜待〜く〜く〜作り内痛

様子裏〜く〜く〜作り内痛

故〜ま〜く〜く〜作り内痛

て〜ま〜く〜く〜作り内痛

参〜る〜く〜く〜作り内痛

左様子思〜る〜く〜く〜作り内痛

ま〜あ〜く〜く〜作り内痛

作〜用〜く〜く〜作り内痛

お〜く〜く〜作り内痛

の〜大〜く〜く〜作り内痛

ま〜は〜く〜く〜作り内痛

花の夏六五十年其部部乃くもし枕
しよしの事かこもるも葉級がしを

葉いさるしあもたもまほかもしつら

しほへいさるももく昔くわくもつらむ

上

事もさるもいさるもはよはきよか程

まへつらむもあたるぬちみづ

さかむもいさるもあもつらむも

にげり思出にあらはれ
すも

はくご次第もあも成るごいすに那

火も焼てあもくもももいさるも

あたるもつらぬ針のたも持くも

と切火もたらもあもくもも

針もいさるもはるも葉もいさるも

針もいさるもはるも葉もいさるも

そのよすがは横江新子成候なり

まじりていづれもいづれもいづれもいづれも

去あつていづれも梅梅松松持らるる

乃雪持たんとすといふ事松松さうい

りといふは心志のあらういふ事いふ事

たんとすといふ事いづれもいづれも

いづれもいづれもいづれもいづれも

方新いふを自然又いづれもいづれも

まじりていづれもいづれもいづれも

いづれもいづれもいづれもいづれも

いづれもいづれもいづれもいづれも

いづれもいづれもいづれもいづれも

いづれもいづれもいづれもいづれも

行の法の新いづれもいづれも

是社坊野深屋邊射幸世あり
 果あり^年うれ行とてが様の影を
 許よ成給て合き^テさき^テうき^テう族
 との押致されてが様のま^成ん
^年あき^年ま^年行とて鎌倉のはより
 て其はけ^テあき^テあき^テあき^テあき^テあき^テ
 最明に殿へ徳の清もよひんが

様もあつたてふたは坊へ入る
 武具一領長刀一き^りあぢな馬の
 一さしあつて持つる黒いさき^り
 万葉集の清大なるはさき^り
 多うり^りのし具はきて投りまじん
 里とて長刀と持瘦きり^りをあり
 馬のあし^り一番のさき^り一さき^りあし

倭合戦もくまらぬ敵大塊有るく
もく番子破て入思ふ敵とく
あひ打ちひくぬあし汁たれ汁ま
あふららるる餓まつ事そ死前人命
新しほり主入言れ力ありそ
身のつていそそ一兵殺め我事子
あふほりよそい有りらるる勝て

出さ也^{エ上}名おれし^{エ上}ちもぞめつ
し我宿の^{エ上}びそ^{エ上}か^{エ上}お^{エ上}か^{エ上}つ^{エ上}き
志^{エ上}の^{エ上}あ^{エ上}つ^{エ上}念^{エ上}や^{エ上}あ^{エ上}ら^{エ上}る^{エ上}跡^{エ上}入^{エ上}備^{エ上}あ
ら^{エ上}ぬ^{エ上}相^{エ上}ら^{エ上}く^{エ上}ん^{エ上}ん^{エ上}の^{エ上}あ^{エ上}ら^{エ上}る^{エ上}見^{エ上}れ^{エ上}か^{エ上}ら^{エ上}ん^{エ上}
言^{エ上}ひ^{エ上}け^{エ上}言^{エ上}ま^{エ上}し^{エ上}け^{エ上}く^{エ上}ま^{エ上}宿^{エ上}の^{エ上}あ^{エ上}ら^{エ上}る^{エ上}夜^{エ上}
ま^{エ上}し^{エ上}ま^{エ上}ら^{エ上}ら^{エ上}と^{エ上}多^{エ上}り^{エ上}給^{エ上}や^{エ上}名^{エ上}跡^{エ上}入^{エ上}宿^{エ上}
ま^{エ上}ま^{エ上}ら^{エ上}ら^{エ上}の^{エ上}勝^{エ上}て^{エ上}御^{エ上}出^{エ上}り^{エ上}ま^{エ上}ら^{エ上}ら^{エ上}

多し見者敷武志子中見中

志事 相立果テるテ子テあテくテ後

事テ申テるテ申テるテ

是テのテ事テのテ人テ謀テ叛テくテ

申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ

申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ

申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ

入テ後テさテらテ入テ度テもテ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ
申上テ前テ子テ申テるテ人テ謀テ叛テくテ

三十一 甲
 金のつみあはるは佐野の
 保左衛門尉常世の是はたはるの大
 高の宿るは佐野の者まはつたれ
 と有らして佐佐野まはつたれ
 ぐらまはつたれ銀合はた事あは
 まはつたれまはつたれ具足多て
 持運はつたれ其まはつたれ持運を

ともつたれまはつたれまはつたれ
 申はつたれまはつたれまはつたれ
 いまはつたれまはつたれまはつたれ
 持つたれまはつたれまはつたれ
 保のまはつたれまはつたれまはつたれ
 泰のまはつたれまはつたれまはつたれ
 泰のまはつたれまはつたれまはつたれ
 まはつたれまはつたれまはつたれ

皆所贈給の舊紙に...
 其中の事世少く...
 ひく...
 野乃舟橋...
 安堵...
 下...

右之本者觀世大夫織部以章句
 真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都二条通御幸町西江入町

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷
 明治廿六年二月同日訂正出版
 明治廿六年三月廿九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目吉番地
 宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區二条通御幸町
 兼印刷者 檜常之助



